



2008-06

2008.09.16

環境をテーマにしたメッセージ列車

「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」を運行します

阪急電鉄では、阪急阪神ホールディングスグループで推進する社会貢献活動の一環として、環境をテーマにした「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」を運行いたします。

この列車は、車両の外観だけではなく、車内のポスター枠やステッカー類もすべて環境をテーマにしたもので統一し、列車全体でメッセージを発信することで、鉄道をご利用のお客さまに環境に対するご理解を深めていただくことを目的として運行するもので、地球温暖化防止月間である本年12月に開始し、洞爺湖サミット開催から1年を経過する来年7月までの運行を予定しております。

また、今回の取り組みは、NPO法人 環境市民の企画監修のもと、沿線の行政や市民・企業等とも連携することで、市民・行政・企業のパートナーシップによる環境に配慮した持続可能なまちづくりを推進する契機としたいと考えております。

弊社では、エコトレインの運行を契機として、鉄道事業を中心に、環境を大切にする商品の提案や環境負荷低減施策等これまで以上に環境施策に積極的に取り組んでまいります。

「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」の概要は次のとおりです。

1. 運行車両

神戸線・宝塚線8000系車両（8両編成） 各1編成

京都線8300系車両（8両編成） 1編成

合計3編成

※8000・8300系車両は、ブレーキ時電動機の回転力を活かし、発電機として使用（回生ブレーキという）することで30%~40%の電力を架線に返し、他の加速中の列車の電力として使用する省エネルギータイプの車両です。

2. 運行期間(予定)

2008年12月1日（月）～2009年7月31日（金）

3. 特徴

- ・ より豊かな自然環境に恵まれた沿線地域の実現をコンセプトとする車体ラッピングデザイン
- ・ NPOの企画監修のもと、沿線の行政や市民・企業等とも連携し、環境啓発情報や環境アート、国・沿線自治体・企業の環境に関する取り組み、阪急阪神ホールディングスグループの環境への取り組み、未来に向けた提言等、環境をテーマにしたポスターを車内の全ての掲出枠を使って展開

4. 企画監修

NPO法人 環境市民

※京都に本拠地を置く環境NPO。グリーン購入や自治体を対象とした環境首都コンテストの主催等の活動に取り組んでおり、2004年度グリーン購入賞環境大臣賞受賞等の実績あり。（<http://www.kankyoshimin.org/>）



5. 特別協力

チーム・マイナス6%（環境省）

6. 後 援（予 定）

環境省、国土交通省近畿運輸局、社団法人日本民営鉄道協会

以上

【添付資料】エコトレインデザインイメージ

阪急電鉄都市交通事業の環境の取り組み

【ニュースリリース配布先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ



側面



正面



ヘッドマーク

阪急電鉄都市交通事業本部における環境への取り組みについて

阪急電鉄・阪急阪神ホールディングスグループでは、1998年より社長を委員長とする環境委員会を設置し環境に対する取り組みをグループで推進
⇒ これまでの阪急電鉄都市交通事業の環境への取り組みの例
駅への太陽光発電の導入（関西の鉄道会社初）、鉄道車両整備工場のISO14001取得（関西初） 等

グループとしての社会貢献
の取り組み開始にあわせ、
都市交通事業本部内の環境
施策もさらに積極的に推進

■方針

1. 事業の環境負荷低減に努めます。
2. 社会全体の環境負荷低減を図るため、公共交通をよりご利用いただけるよう努めます。
3. 従業員一人ひとりが環境について真剣に考え、行動します。

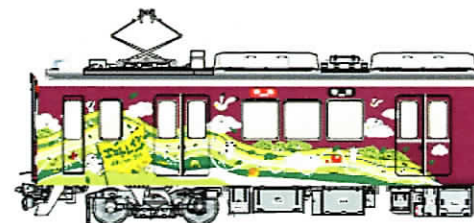
■シンボル施策

◆シンボル施策1：環境メッセージ列車「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」

- ・車体だけでなく、ポスター等の車内の掲出物についてもすべて環境をテーマにした列車を、神戸・宝塚・京都の各線に1編成ずつ設定（2008.12～2009.7予定）
- ・車内掲出物は、NPO（環境市民）の監修をえて作成し、行政、企業の提供も受ける

◆シンボル施策2：環境対応モデル駅

- ・新駅や駅の大規模改造の際には環境対応設備を積極的に導入
 - ・省エネ…太陽光発電、雨水再利用等の導入により、新駅から排出されるCO₂を削減
- ⇒ 最初の取り組み 2009年度末開業予定の摂津新駅・地球温暖化対策モデル地区を目指す駅周辺の先進的な環境配慮型まちづくりと運動



■基本的な取り組み

事業の環境負荷軽減

○CO₂排出量削減

省エネ車両新造、高効率照明器具、変電器高効率化、信号機LED化、灯具LED化、省エネ型エレベータ・エスカレータ、太陽光発電、上下線一括電力方式等

○騒音振動防止

ロングレール化、圧接クロッシング、無道床橋梁騒音対策（ポリ製吸音材）、車輪フラットの早期発見（フラット検出器） 等

○資源の有効活用

乗車券等のリサイクル、グリーン購入の推進 等

社会全体の環境負荷低減のための公共交通利用促進

○インセンティブ

エコ乗り（土・日・祝日の鉄道・バス等の乗継に対するICカードのポイント付与）、レンタサイクル利用促進キャンペーン、eco乗バス（緑の募金付企画乗車券）等

○啓発活動

行政と連携したPR・環境学習 等

（そのほか、鉄道の利便性向上や駅周辺の交通手段整備など、公共交通をよりご利用いただきやすくなるための施策に取り組む）

従業員啓発

・環境教育、講演会、表彰制度 等